



2019年4月25日

各位

会社名 住友化学株式会社  
 代表者 代表取締役社長 岩田 圭一  
 (コード番号 4005 東証第1部)  
 問合せ先 経理部長 丹 昌敏  
 (TEL 03-5543-5160)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年2月28日に公表した2019年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### ●業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上収益	コア営業利益 (注)	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,410,000	220,000	190,000	120,000	73.39
今回修正予想(B)	2,318,000	204,000	183,000	118,000	72.17
増減額(B-A)	△92,000	△16,000	△7,000	△2,000	
増減率(%)	△3.8	△7.3	△3.7	△1.7	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	2,190,509	262,694	250,923	133,768	81.81

(注)コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除しております。

#### 修正の理由

売上収益は、健康・農業関連事業において北米で期末にかけて発生した度重なる天候不順に伴い農薬の出荷が大幅に減少したこと、及びメチオニン(飼料添加物)の市況が想定を下回ったことに加え、医薬品や石油化学においても出荷が減少したこと等により、前回発表予想を下回る見込みです。

コア営業利益は、石油化学において石油化学品等の交易条件が想定よりも改善し、またエネルギー・機能材料、情報電子化学、医薬品においても概ね前回予想並みの堅調な業績を見込みます。しかしながら、健康・農業関連事業において上述の北米農薬の出荷減少やメチオニンの業績が悪化したこと等により、前回発表予想を下回る見込みです。

営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましても、コア営業利益の減少により、前回発表予想を下回る見込みです。

(補足情報)

通期セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		2019年3月期 前回発表予想 (A)	2019年3月期 今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
石油化学	売上収益	770,000	757,000	△13,000
	コア営業利益	57,000	61,500	4,500
エネルギー・ 機能材料	売上収益	285,000	283,000	△2,000
	コア営業利益	22,000	23,000	1,000
情報電子 化学	売上収益	405,000	397,000	△8,000
	コア営業利益	26,000	26,000	0
健康・農業 関連事業	売上収益	380,000	338,000	△42,000
	コア営業利益	42,000	19,500	△22,500
医薬品	売上収益	515,000	492,000	△23,000
	コア営業利益	81,000	80,500	△500
その他 全社費用等	売上収益	55,000	51,000	△4,000
	コア営業利益	△8,000	△6,500	1,500
合計	売上収益	2,410,000	2,318,000	△92,000
	コア営業利益	220,000	204,000	△16,000

※ 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上